

「次期秋田市教育ビジョン（案）」に寄せられた意見等について

No.	意見等の内容	意見等に対する市の考え
1	<p><b>P41 学習指導の充実</b>            一人ひとりの学習状況を把握し、個に応じた指導の充実に努めます。とありますが、今の教育現場で一教師にどれほどの時間があるのでしょうか。学力トップ級が続く状況で教師はただその現状を維持する事に懸命になってしまったり、大きな責任を感じてしまう事もあるはず。教師が仕事に忙殺されない手段はないのでしょうか。</p>	<p>教職員の多忙化については、様々な視点からの対応が必要であると考えており、校長会等と連携を図り、各校の状況を把握しながら、改善に努めてまいります。</p>
2	<p><b>P22 特別な支援を必要とする児童生徒の割合</b>            少子化が進んでいる秋田市だからこそ、学級生活支援サポーターの拡充に本格的に力を入れて欲しいと感じた。</p>	<p>子ども一人ひとりの状況等に応じた、よりきめ細やかな支援の充実に努めるため、学級生活支援サポーターの拡充に努めてまいります。</p>
3	<p><b>P23 高等学校等の状況</b>            “AKI SHOP”等、高等学校入学前の児童たちも興味を持つ取り組みは、素晴らしいと思っておりました。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>
4	<p><b>P53 情報モラル教育の充実</b>            情報モラル教育の充実ですが、現在の親世代の子供の頃には、ネットは普及しておらず、そういった教育ももちろん受けていないからこそ、子どもたちへ、学校などで教育し、トラブルから身を守る方法を教えてほしいと思う。</p>	<p>ネットトラブルから子どもたちを守るためには、家庭等の協力が欠かせないことから、情報モラル教育の充実にあたっては、引き続き、学校と家庭、地域が連携した取組の推進に努めてまいります。</p>

No.	意見等の内容	意見等に対する市の考え
5	<p><b>P46 郷土秋田に根ざした教育の推進</b>            人間性の育成や教育について多くの計画・対策が考えられています。しかし最近の社会の変化として、学力・成績はよくても、道德感に欠ける行為・事件がおきています。道德心は、幼少からの教育によるもので、小学・中学と持続させ、郷土の人材育成のためにも秋田の偉人（身近な人～日本を世界を舞台にした人）を知ること、成されたことを知ること、それによって秋田や日本にどう影響したのかを知る機会を与えてほしいです。            人口減少の著しい秋田で、人材を育て流出させない方法も長い目で考えていかないと、プランにふり回され、教育する側の疲へいにつながったり、与えられたものはこなせるが、考えられない若者をふやします。</p>	<p>いただいたご意見を「郷土あきたの明日を拓く『自立と共生』の人づくり」をめざす本市教育の充実のための参考とさせていただきます。</p>
6	<p><b>P21 不登校・いじめの状況</b>            不登校になる理由は、学校のいじめだけでしょうか？たしかに今のいじめは、大人に気づかれにくい陰湿なものが多いのは、きこえてくるところです。しかし、元をたざすと、いじめに関わった者の家庭での理由も（貧困・ネグレクトetc.）あるはずで。病院でも学校でも、行政の部分でも、重篤になる前にひっかけられる網のような対策は何か考えられているのでしょうか？</p>	<p>不登校の未然防止に向けた取組を推進するにあたっての参考とさせていただきます。</p>
7	<p><b>P28 人口および児童生徒数、学級数（学校数）の状況</b>            人口減少は極めて深刻である。自然減にしても社会的な減少であっても、郷土秋田に魅力を感じないことが根底にある。            人口減少に歯止めをかけるために教育の果たす役割は大きい。</p>	<p>ふるさとへの誇りと愛着をもち、郷土の発展に関わろうとする態度をはぐくむ郷土秋田に根ざした教育の推進にあたっての参考とさせていただきます。</p>
8	<p><b>P46 郷土秋田に根ざした教育の推進</b>  <b>P57 御所野学院高等学校の教育の充実</b>            郷土秋田には沢山の大きな魅力がある。東北の中でもここにしかない誇るべき自然や文化がある。            問題はそのかけがえのない大切さ、すばらしさを認識できていないことにある。            秋田が好きでここに生きていることに誇りと喜びを感じられることが、ひいては秋田の活性化につながるであろう。            御所野学院の「郷土学」すべての小学校、中学校でも実践していただきたい。</p>	<p>各校では、地域の人材、素材、環境を生かしながら、郷土の自然や歴史、文化等について理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ学習の充実に努めているところでありませ。</p>

No.	意見等の内容	意見等に対する市の考え
9	<p><b>P58 秋田公立美術大学附属高等学院の教育の充実</b>  公立美術大学（附属高等学院）の発表会にうかがったことがあります。すばらしい作品があり、うれしくなりました。すぐにも使えそうな作品もありました。若い人を育成することはうれしくなります。ついでに職場もふえるとうれしいと思います。</p>	<p>案に賛同いただけのご意見として承りました。</p>
10	<p><b>P63 社会教育の充実</b>  学習をするという事は豊かな人生を送るためにしていることと思います。家庭学級の活動をしていた時も学んだ様な気がします。人は生涯勉強しなければと思います。この年になっても新しく学ぶ事が多い気がします。</p>	<p>社会教育の充実に向けた参考とさせていただきます。</p>
11	<p><b>P22 特別な支援を必要とする児童生徒の状況</b>  生活支援サポーターの数が少な過ぎる。普通学級でのサポートが少ないために、授業に付いて行けず、支援学級に行かなければならない状況ではないのか？</p>	<p>子ども一人ひとりの状況等に応じた、よりきめ細やかな支援の充実を図るため、学級生活支援サポーターの拡充に努めてまいります。</p>
12	<p><b>P21 不登校・いじめの状況</b>  いじめが原因で不登校になった場合、いじめ問題としてではなく、不登校として扱われると聞いたことがある。秋田市の場合、いじめが原因の不登校は、いじめ問題、不登校の両方でカウントしているのか？</p>	<p>いじめが原因で不登校になってしまった児童生徒がいた場合は、いじめの認知件数、不登校の人数、それぞれの集計に含めております。</p>

No.	意見等の内容	意見等に対する市の考え
13	<p>○道徳教育の充実 ○アクティブ・ラーニングの視点 ○授業研究会etc. 過日読んだ各種新聞によれば、文科省刊行の「学習指導要領改訂案」で、小・中学校の「道徳の時間」が格上げされて「道徳科」となり、それに伴って、授業法も＜教材を読ませる、教える＞から＜考えさせる、議論させる＞へと転換を計った由。 以上の改訂案に賛同するものの一人として、道徳科授業の手助けになればと思っ て、私が気に入っている授業スタイルの例を二つ記してみます。 提案 その1 「P4C」(Philosophy for Children)＜子どものための哲学＞ これは、学校の授業とちがったスタイルですが、そのknow・howは学校授業に組み入れても良いと思われ ます。小学校の高学年からは進行役(司会役)が学級の児童でもやれますが、低学年、中学年 は学担がやった方が良いでしょう。 ①平成28年11月23日付秋田魁新報の企画記事、「ニッポンの人づくり～哲学する・世界が 変わる」＜子どものための哲学＞…正解ない問い考える… ②Web siteの‘P4C’ or ‘道徳の授業’ You Tubeには、動画(P4Cの実際)があります。 ③単行本…『子どものための哲学』＜学びの場＞(河出書房新社) 『子どものための哲学 授業』＜対話＞講談社 など 提案 その2 ◎県外(広島県福山市立旭小学校)ある小学校の授業記録です。『文芸教育・1992年』 明治図書発行＜臨時増刊・特集・新美南吉を授業する＞ ◎小学校5年生(38名)を相手に、南吉の童話を教材にして、担任教師が国語の授業を行 った記録です。 ○この記録を読んで私が感動したのは、授業の構成にヘーゲルの弁証法の法則・＜正・反・合 の図式＞を用いたことです。小学校5年の国語の授業に正・反・合の図式を用いて、成功す るとは、びっくりぎょうてんしました。もう一つの感動は、全児童(38名)に発言させたこ とです。以上 (※世の中にヘーゲルをいやがる人も居ますので、私は、代わりにピタゴラスの定理を使 って授業案を作ったこともあります。ちゃんとできました!!)</p>	<p>学習指導を充実する取組を推進するにあたっての参考とさせていただきます。</p>